

キャリア実習 海外インターンシップ 報告書

<実習期間>

2024 年 8 月 5 日 (日) ~ 8 月 31 日 (土)

<実習先>

Mega Global Media Malaysia

<所属学科・学年>

文学部英語英米文学科 3 年

(文化表現学科)



<https://www.mtown.my/>

<実習中のスケジュール (抜粋) >

2024 年 8 月 7 日 (水)

■主な実習内容

9:00~10:20 デスクワーク DM 確認、レストランガイドブック校正
10:20~13:30 取材
13:30~14:30 デスクワーク レストランガイドブック校正
14:30~17:00 食品会社との打ち合わせ(社外)に同行
17:00~19:00 デスクワーク Proposal 作成

■感想・印象に残ったこと

食品会社との契約現場に同行させていたあいた。契約の現場を直接体験でき、貴重な経験となった。提案では、お互いの利益が一致しなければならず、それぞれの長所をよく知り、活かしていかなければならないことを学んだ。

2024 年 8 月 8 日 (水)

■主な実習内容

9:00~12:00 デスクワーク DM 確認、レストランガイド校正
13:00~18:00 インスタグラム投稿作成

■感想・印象に残ったこと

レストランガイドを校正する際、以前よりお店の情報をしっかり調べるようになり、校正しやすくなった。レストラン側のことをよく知ることは大切だと思った。

2024 年 8 月 15 日 (木)

■主な実習内容

9:00~11:00 Web ニュース入稿、紙面記事入稿
12:00~17:00 SNS 対応

17:00～18:00 SNS 戦略についての打ち合わせ

■感想・印象に残ったこと

MTown では、Weekly の雑誌だけではなく、Web 上でもニュースやグルメなどについて情報を発信していて、やり方を学べてよかった。SNS では、マレーシアにいる日本人だけでなく、現地の方にも見ていただけるように英語での発信も視野に入りたい。

2024 年 8 月 23 日（金）

■主な実習内容

10:00～12:30 KLP48 インタビュー まとめ

13:30～19:00 KLP48 インタビュー まとめ

■感想・印象に残ったこと

インタビューした内容を、メモや録音を確認しながらまとめた。これから Weekly の記事にそのまま乗るらしいので、インターン生一同で協力しながら良い文章を作り上げることができた。

2024 年 8 月 29 日（木）

■主な実習内容

9:00～12:00 プロポーザル 営業メール作成

12:00～16:00 プロポーザル 営業メール作成

16:00～18:00 営業（外出）

■感想・印象に残ったこと

今日も、コラボキャンペーンのメールについて反応があったところへ、打合せに行った。Native の社員の方と一緒にいったので、スムーズに話が進んだ。

<実習をふり返って>

1. 実習先について

- ・日本人とマレーシアの方が在籍。
- ・英語ができなくてもよいが、英語ができると仕事の幅は広がる。
- ・編集業務と営業の希望を聞かれたので、両方を経験させてもらった。
- ・同行取材や営業活動もあった。
- ・取材も行い、取材原稿はかなり校正された。

2. 現地の生活環境

- ・ホテルと実習先は近く、15 分前に出ても間に合う距離。
- ・いろいろな国の料理店もあるため、楽しめる。200 円くらい。コンビニやレストラン、フードコートにて食事をとった。
- ・時期として、スコールがある。
- ・治安に 悪い印象はない。ただし、異国のにおいに慣れなかった。
- ・クレジットカードで OK。現金はほとんど使わない
- ・現地の移動はGrab（タクシー）。タクシーの人から話しかけてくる

3. 実習の目的への達成度と感想

- ・国際的な職場で働くことに対して適応力を身に付け、自身の変化をまとめる。

→新しいことにどんどん挑戦していきたいと考えた。自分の視野や可能性を広げるという意味でも、海外で働くという選択をして本当に良かった。積極的な姿勢と責任を忘れず、仕事においてただこなす、ではなく、相手が関心を持つ・わかりやすいといった視点を自分自身がよく考えることの大切さを学んだ。

- ・情報雑誌の出版の流れを実際に体験し、理解する。

→SNS 運用・ウェブニュース入稿などの編集業務と、取材や SNS コラボキャンペーンの営業などの営業業務の大きく分けて二つの業務を経験した。編集業務ではただ情報を載せればよいのではなく、「本当にこの記事、投稿やストーリーを読者は見たいと思うのか」を自分でしっかりと考える、顧客の立場となることの大切さを学んだ。

- ・言語と文化の違いを経験し、理解を深める。

→ローカルのお店に飛び込み営業に行った際、英語での提案にとっても苦戦した。プロポーサルも作成していたが、それを、相手に利益をわかりやすく説明することがとても難しかった。しかし、伝えたいという思いでつたない英語でも積極的な姿勢を見せれば話を聞いてくれることも多く、結果的に契約を結ぶことにもつながった。